

海外情報

No.30

調査者	宇野 勲
情報ソースの刊行日	2020年5月16日
情報ソースの調査日	2020年5月19日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月21日
日本語タイトル	COVID-19 ウイルスは神経侵襲性を有し、神経学的合併症を引き起こす可能性がある。
情報ソース	Journal of NeuroVirology
情報のカテゴリー	レビュー論文
発信地域	イラン
DOI	10.1007/s13365-020-00851-2
URL	https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/32418055
要約	<p>COVID-19 では中枢神経系も障害されることが報告されている。コロナウイルスが中枢神経系に侵入するメカニズムとして、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ウイルスは鼻腔から嗅球を介して、中枢神経系に浸潤する。 ② 感染した単球は血液脳関門を通過し、神経膠細胞および神経細胞に感染する。 ③ 血液脳関門の内皮細胞の ACE2 受容体にコロナウイルスが結合し、中枢神経系に侵入する。 ④ コロナウイルスが末梢神経系を経て、中枢神経系に侵入する。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	<p>COVID-19 は呼吸器系だけでなく、神経系にも影響を与えることが、複数の調査から報告されている。</p> <p>COVID-19 感染後には、呼吸器系だけでなく神経系の障害に対しての理学療法も必要になる可能性がある。</p>